

れいわ ねん がつ にちはつこう だい ごう  
令和5年10月27日発行 第7号

# 渋谷の荘だより

「今を生き 未来を担え 渋谷中生」

やまとしりつしぶやちゅうがっこう  
大和市立渋谷中学校



華道部員作品

文化発表会では、多くの保護者や地域の皆様のご参観、誠に有難うございました。今年度は通常の体制に戻り、生徒も伸び伸びと自身の力を発揮し、仲間と共に文化発表会に向けて取り組み、発表まで行うことが出来ました。生徒を支えてくださいました保護者や地域の皆様に改めて感謝申し上げます。

## 文化発表会を終えて 文化発表会実行委員長 高山 彩菜

朝8時台、生徒たちのかすかな話し声が聞こえる校舎を歩き、文化発表会が終わったのだと実感しました。9月中旬から動き出した文化発表会、この1ヶ月は渋谷中学校が歌声で溢れていました。

「青春は密だから」夏の高校野球である監督が語った言葉です。さまざまな制限が解けた今年度の文化発表会。渋谷中学校の生徒がそれぞれの想いを胸に、挑んだ舞台でした。仲間と肩を並べ大きな声で歌い、作品を見て驚いたり笑ったり、彼らの姿はまさに「青春」の字そのものだったと思います。

各クラスの合唱練習では、肩を大きくゆらし、ずれたマスクも気にせず、全身全霊で合唱に取り組む生徒たちの姿が印象的でした。本番では一発勝負、武道場で歌う約5分間に全てを込めます。当日は渋谷中学校の生徒全員で作った巨大なステージパネルを背に、立派な合唱を披露してくれました。合唱が終わるたびに沸く仲間のがんばりを讃える温かな拍手に思わず目頭が熱くなりました。合唱コンクールではライバル関係でありながらも、互いの良いところを褒め讃えることができる、渋谷中生の魅力的な姿を何度もみることができました。

自分にとって思い出深い曲を聴くと、当時の自分の置かれた環境や心情が蘇ってくるがあります。いわば歌はタイムマシンのようなものです。5年後、10年後、歌った合唱曲を聴くことがあれば、今年の文化発表会をふりかえることができるのではないのでしょうか。仲間と共に歌った曲を耳にしたとき、「あの時頑張ってたな」そう思えることを祈っています。一生懸命取り組んだ「経験」は誰にも奪うことや塗り替えることはできません。生徒たちにはこの文化発表会に向けて懸命に取り組んだ経験を宝物にして欲しいと思います。一時の青春を味わった生徒たち、青春を楽しむ生徒たちを支えた渋谷中学校の職員全員に感謝の気持ちと心からの拍手を送ります。

1-1                      1-3                      1-2                      3-3                      3-2                      3-1



2-4                      2-1                      2-2                      2-3



がっこうだいひょう ねん  
学校代表として 3年2  
くみ ちゅうぶんれんそうごうぶんか  
組が 中文連総合文化  
さい はっぴよう  
祭にて発表します。